

たぐみ

No.004

平成9年10月
信州名匠会

(題字：池田三四郎名誉会長)

TAKUMI

訃報 村松貞次郎会長がご逝去

—— 8月29日虚血性心不全のため、73歳でした ——

信州名匠会設立総会



▲ 設立総会で池田名誉会長(中央)、馬場顧問(左)と

◀ 設立総会でごあいさつ(平成5年4月26日)



平成6年総会で会員とご歓談



平成6年総会(萬佳亭)で馬場顧問と



明治村を視察する会員(平成6年11月11日)

信州名匠会会長・村松貞次郎先生は、日本近代建築史学の確立や伝統的な職人の手仕事の評価、保存・再生活動、後進の育成など幅広くご活躍され、東大名誉教授・明治村館長などを歴任なさいました。

9月2日午後6時より通夜、3日午前11時より東京・高輪の高野山東京別院にて、告別式がしめやかに行われました。

本会の設立と運営指導にご尽力いただきました村松先生に、会員一同、衷心よりの感謝を申し上げ、ご冥福をお祈り致します。



村松貞次郎先生を悼んで

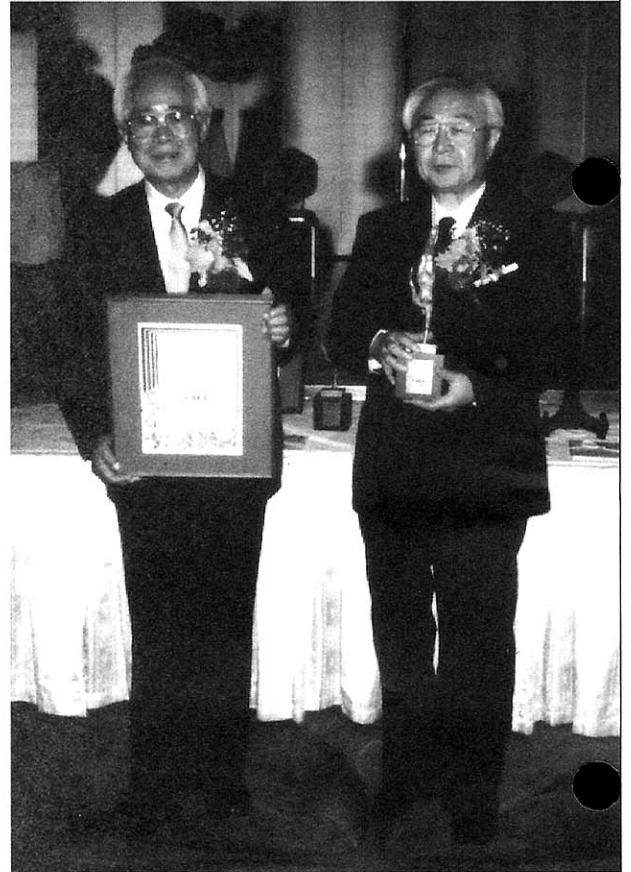
信州名匠会顧問 馬場璋造
建築情報システム研究所主宰

私たち信州名匠会会長の村松貞次郎先生が亡くなりました。8月29日朝5時45分のことであった。早朝4時ごろ、胸の痛みを訴えて救急車を呼んだが、車へはご自分で歩いて乗られたという。虚血性心不全であった。あまりに突然の訃報に呆然とした。この6月23日の信州名匠会総会では、あんなに屈託のないお顔で楽しんでおられたのに……。

先生がおられればこそその集まりや活動が幾つもあった。それらを残して、あまりにも早い旅立ちであった。思い起こせば今年の総会の折り、記念講演で愛弟子藤森照信・東大教授が語った自邸「たんぼぼハウス」についての話を、目を細めてお聞きになっていた。

その建築に対する心構えが、先生の意に適うものであったことがよほどうれしかったらしい。つねに温顔の先生であられたが、あのときほどうれしいお顔をみせられたことはない。これで真の後継者ができたと思われたに違いない。学者としての業績は当然のことであるが、建築を愛し、建築をみずからのものにしていく姿勢こそが、先生の目指しておられるところなのであった。講演後の先生のご感想に、短くはあったがその心情がにじみでていた。その藤森教授は、弔辞で「手考足思」と先生の学風を偲んでいた。先生の著作のひとつに「建築の心と技」という建築家との対談集がある。歴史の視座から建築をご覧になりながらも、その目にはいつも建築の背後に秘められた、それをつくり出した人びとの心と技に向けられていたのである。近代建築工学は大きいもの、均質なもの、固いものは制することができても、小さいもの、不揃いなもの、柔らかいものには手を焼いている。しかしそれを扱うところに人間の技が生きてくると信じておられた。精密な工作機械より人間的な大工道具によって、ひとの心を捉える建築ができると考えておられたのである。そして晩年、「柔らかいものへの視点」が先生の信条となった。

私たちは村松貞次郎先生のこの信条を受け継ぎ、育てて、次代へ伝えていくことを誓いたい。享年73歳。合掌。



▲ 第4回全税共地域文化賞受賞
(平成8年4月19日東京・帝国ホテルにて宮本副会長と)



村松先生の思い出

東京大学生産技術研究所教授 藤森照信



▲平成9年度総会翌日の親睦ゴルフコンペ（6月24日長野カントリー）
村松先生（後列中央）を囲んでグリーンで記念撮影

村松先生が一番好きなのは、大工道具だった。

ノミ、カンナ、ノコギリの三大道具をはじめ、ゲンノウ、チョウナ、ナタ、オノ、キリ、ついには砥石まで好きだった。

砥石の産地に行くと、いくつももらってきて、学生たちに「家で研いでみる」と、くれた。播州・三木の有名なカンナ鍛冶のところに行った時は、カンナの刃の切り落しをもらってきて、それを切り出しナイフに加工するやり方をおしえてくれた。グラインダーで形を作り、教えられたように、コンロで焼き、天ぷら油をつけて焼き入れすると、見事な切り出しになった。

先生が大工道具に目を注いだのは、さらに大工道具だけでなく職人の世界に温かい目を注いだのは、これはしばしば語っていたことだから耳にした会員もおられると思うが、「材木屋の小倅（せがれ）」だったからだった。

静岡県清水市は、戦前・戦後、有数の材木生産地として全国に名をとどろかせているが、その清水の材木業のリーダーシップをとっておられたのが、先生の父上だった。

丸太から板が挽き出されてくるのが面白く、いつまでも眺めていた子供のころのことを、しばしばうれしそうに語っていた。

先生の大工道具との付き合い方で面白いのは、使ってみること以上に作ってみたいと思っていたことだろう。各種道具のファンは多いが、その道具を作ろうというのは異例にちがいない。先生は何ごとであれ、“直接自分の手で”がモットーだったのである。

先生は、東大を辞めた時、日本に鍛冶場を作る夢を語っておられた。狸の皮を内張りしたフィゴの手当てまでしたとも言っていた。全国の大工道具鍛冶の名人上手が集まって先生のために鍛冶場を作り、火入れをし……

この夢は、地上ではかなわなかったが、きっと先生は今頃、天上の鍛冶となって、ノコギリはむずかしいにしても、カンナやノミを、トンカントンカンと鍛（きた）えていることだろう。空を見上げると、雲の晴れ間から、その音が聞こえてくるような気がする。



村松貞次郎会長をお偲びして

信州名匠会副会長 宮本忠長
宮本忠長建築設計事務所主宰

村松貞次郎先生。あまりにも、急なことでした。

去る6月下旬、信州名匠会の定時総会。

お元気な、お姿。ふだんと変わらぬ先生は、独特の穏やかな口調で、私たち会員に励ましのお言葉をかけていただきました。

「今回で満四年を迎えて、自分としてもこの会が着々と内容が高まり充実し、会員諸兄の明るい表情に接し、とてもうれしい」と喜ばれ、いよいよ「信州名匠会」も将来が楽しみ、と期待されておられました。その時の村松先生は、本当に

ご満足なご様子で、「みんな手を取り合って、王道を歩もう」と語られ、私ども一同、身の引き締まる思いでありました。

また当日は、信州の生んだ刀匠、人間国宝の宮入行平さんのご長男、宮入小左衛門行平（本名・宮入恵）さんをお招きしての総会でしたし、宮入さんの日本刀と刀鍛冶のご講話をいただき、村松先生はじめ、新建築社・吉田義男社長、常任顧問・馬場璋造先生とも、楽しく和やかな雰囲気にも、一同、静かな感動に浸っていました。翌日の飯綱高原での親睦ゴルフ会。お元気な先生は、スコアも高齢者組ではいちばん良く、フェアウエイを歩かれる先生の後ろ姿を拝見して、まさに、ゴルフでも「王道」を歩まれる、と思わずハッと我に帰る楽しいラウンドでした。

今、それらが、人生の「生きた過去」のドラマになってしまいました。残念で堪りません。

現世、無常です。私ども一同にとって、先生の精神は永遠に生き続けるものと自覚しています。

信州名匠会が、会員ひとりひとり、心を一つにして、人生の「王道」を歩むための精進を続けてまいりたいと思っています。

謹んで村松貞次郎先生のご冥福をお祈り申し上げますとともに、奥様をはじめご遺族の方々のご心情を拝察申し上げます時、何卒、お元気で体をお大事になさってください。悲しみを堪えて、お悔やみの言葉といたします。



▲ ゴルフコンペの昼食で歓談される先生（中央）

平成9年度 総会開催

信州名匠会第4回総会は、平成9年6月23日（月）、長野市内木造3階建ての御本陣・藤屋にて、32名の出席のもと開催されました。

新井庄市郎氏の司会により、村松貞次郎会長のあいさつ、池田三四郎名誉会長からの手紙代読があり、議事が進行されました。事業・会計等を承認後、新会員の紹介があり、最後に宮本忠長副会長より、士会連合会、最近の動きを聞き、閉会しました。

講演会は今回、刀工宮入恵・小左衛門行平先生の「私にとっての刀」。人間国宝を父に持つ宮入家刀鍛冶4代目の生い立ち、苦労話、刀とは「用・美・心」、そして刀の変遷等、1時間があっという間に過ぎたようです。今回も、新建築社の吉田義男社長、馬場璋造顧問が、お忙しい中、会長共々ご出席をいただきました。厚く御礼申し上げます。

平成8年度 事業報告

平成8年

- 6月21日（金） 平成8年度信州名匠会総会および全税共地域文化賞受賞記念パーティー（於：ホテル国際21）
会員42名・来賓4名
- 6月22日（土） 親睦ゴルフコンペ（於：長野カントリー）12名参加
- 7月18日（木） 第14回研修会（於：緑州舎）建築ジャーナル編集者同席
17名参加
- 7月19日（金）
～21日（日） 「すまいとまちづくりフェア'96長野」 出展
- 9月7日（土） 「たくみ」No.003 発行
- 10月5日（土） 第2回研修旅行「伊勢」…「ミレニアムの木造文化を語る」
～6日（日） 14名参加
- 11月21日（木） 第15回研修会（於：緑州舎）15名参加
- 12月20日（金） 建築家安藤忠雄講演会「可能性にかける」に協力
主催・ながの建築アートフォーラム
（於：ホテル国際21）

平成9年

- 3月26日（水） 第16回研修会（於：緑州舎）
特別講演会 善光寺事務局長 若麻績修英氏

平成9年度 「信州名匠会」事業計画

1. 技術の伝承及び後継者の育成を図る

- ① 講演会、研修会等を開催し、職人の技術向上を図る。
- ② 異業種間交流を行い、技術の向上を図る。
- ③ 会員による住宅の直営工事を推進する。
- ④ 失われつつある伝統材料及び資料の保護・育成を図る。

2. 優れた職人の発掘及び紹介を行う。

- ① 建築行政及び関係組織との連携を図る。
- ② 会員名簿を作成し、各組織へ職人の紹介を行う。

3. 機関誌の発行を行う。

4. 視察及び見学を行い、技術の発掘及び交流を行う。

5. 懇親会等により会員相互の親睦と理解を深める。

6. 第4回全税共地域文化賞の賞金を基金とし、各県の名匠会発足を推進する。

平成9年度 「信州名匠会」年間スケジュール

1. 6月23日(月)	総会・講演会 藤屋	9. 12月	第20回研修会・忘年会
2. 6月24日(火)	親睦ゴルフ会 長野カントリー		[たくみ] No.005発行
3. 9月 4日(木)	第17回研修会 緑州舎	10. 平成10年2月	第21回研修会
4. 9月24日(水)	役員会	11. 3月	第22回研修会
5. 10月 2日(木)	第18回研修会	12. 4月	第23回研修会
6. 10月15日(水)	[たくみ] No.004発行	13. 5月	役員会
7. 11月	第19回研修会	14. 6月	平成10年度総会
8. 11月22日(土)			[たくみ] No.006発行
・ 23日(日)	第3回研修旅行「近江八幡」		

夢と現実

瓦葺職人 西宮登喜男

私（綿内瓦工業）は、「仕事が営業」と考えております。施工後、屋根を眺め、当初頭に思い浮かべたとおりに出来上がっていただければ、疲れも喜びへと変わります。

物件の大きさは、関係ありません。しかし、現実には仕事内容もパターン化され、コストダウンを強いられております。瓦も年々品質が良くなり、パターン化された屋根では完工直後、技術の差が素人には分からなくなってきました。建物に関して無知な建設屋（建設関係者）が「安かろう悪かろう」の無責任施工をしているように思われます。

今、建築もいろいろな設備が施され、以前の工法とはだいぶ変化してきました。当社も現代的な工法をより勉強し、いかに低価格でよい仕事をするかを考えています。そんな中で、工場内の加工等、分割作業による能率アップで、当初の仕事内容を崩さずにコストダウンを図り、また、よりよい仕事を目指しております。

仕事を通じて、より多くの人と出会い、より多くの物件をこなしていくなかで、10年20年先には、特命で仕事もらえるような、いい値で仕事に来るような会社にしたと思います。



▲ 屋根で施工中の西宮氏

住まい再考

家具職人 柳澤邦夫



▲ 伊勢視察旅行で（H.8.10.6）。
左から永井竜雄氏、柳澤夫人、宮本会長、柳澤さん、堀誠さん

ハウスメーカーの高気密・高断熱の家があまりに宣伝され、「あんたんとはどうなんだ」と聞かれたある大工さん、返事ができなかったそう。

「おめえさん家じゃあ床暖房だ、エアコンだ、エアサイクルだちゅうような温室みてえな所で子供ら育てるつもりなんかね。そりゃあいいだろうけどさ、真夏や寒中に外に出んわけにはいくめえ。そおいやあ、おめえの婆さんの葬式にはまいったぜ。底冷えのする本堂でよ、おめえらはいいよ、そばにでっけえストーブが赤々と燃えてて、でもさんざ世話をかけたからな。」

「あれ、何の話だったっけ。そうそう、人間ちゅうもんはなかなか良く出来ていて、かなりの事には順応する能力を持っておるんだわ。」

「換気扇を回さなけりゃならねえような家に住んで、電

気止まったらどうなる？時々聞くよな、JRの列車、窓の開かない冷房車が故障でサウナになっちゃったなんて。おれん家は平気だ。エアコンも、床暖房もねえしよ。窓を開けりゃあ風が吹きぬけらあ。明かりかえ、夜が明けたら起きて、暗くなったらかかあと寝ちまうさ。飯かい、そこいらの木っば集めて炊くよ。」

「誰だい、まるで江戸時代だなんて言うのは。だけど何だか、時代が戻ってくるような気がしねえかい。石油だってあと39年分しかねえって言うてるし、原子力発電もお先は真っ暗、そろそろ考え直した方がいいんじゃないかねえんかい。」

新入会員紹介 (個人会員)

1. 家具職人 伊藤章 (有)アキプランニング

〒382 須坂市大字小山1918-748
TEL.026-246-8080 FAX.248-3973

2. 左官職人 島田安雄 島田工務店

〒382 須坂市立町1523
TEL.026-245-4361 FAX.245-4361

退会 (賛助会員)

1. 松下電工(株)長野住設建材

〒380 長野市栗田舎利田669
TEL.026-228-2236 FAX.224-3676

【おしらせ】

第3回 研修旅行

「近江八幡と琵琶湖」参加者募集!!

平成9年11月22日(土)・23日(日)研修旅行を計画しました。

市民レベルによる八幡堀の保存運動から、「伝統的建造物群保存地区」への指定により、よみがえった近江八幡市。宮本忠長副会長の同市での講演会に合わせて計画しました。奮ってご参加ください。

なお、会費は約35,000円を予定しています。